

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	01_北海道
市区町村名	01691別海町
自治体区分	都道府県

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
01691別海町	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	学校が必要と考える支援内容と地域が提供可能な内容に差異があり、学校での展開につながりにくい。	学校と地域におけるニーズとシーズの見える化に取り組み、地域においてより多くの内容が提示できるよう地域人材の共有を図る。	広報やホームページで広く募集をかけたほか、会議や各種集会においても周知を行った。	学校活動を支援する地域住民を増やすことで、多様な内容取組を可能とする。	学校応援ボランティア等に係る個人・団体の登録数	34	件	40	35	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる 高齢者の登録除籍が多く、登録数は減となった。なお、1年を通じて活用されないリストもあることから、今後は実際に活用されやすいリスト作りに努める必要がある。	betsukai.jp
01691別海町	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	学校と家庭の往復になりがちな環境にあるへき地児童に対し、放課後においても利用可能な居場所が必要な状況にある。	地域において児童の放課後活動の必要性の理解の促進。地域人材の確保。	各地域のコーディネーター等と放課後の居場所づくりや人材の確保の課題について、相互理解を深めるための協議を行った。	地域住民が主体となった放課後等の活動の実施することを通して、子どもの多様な体験活動が推進される。	放課後子供教室参加者割合	38	%	43	56	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる 想定より多くの参加率となり、様々なへき地児童にとっては有用な事業となった。また、新たな地域で放課後子供教室を開設することができたことから、今後も地域の協力を得ながら安定した事業展開を行っていく必要がある。	betsukai.jp